

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2022年12月15日

2. 認定事業適応事業者の名称

アンリツ株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

アンリツ株式会社は「誠と和と意欲」をもってグローバル社会の持続可能な未来づくりに貢献することを通じて、企業価値の向上を目指しています。2023年度までのサステナビリティ目標を設定してESG各分野の活動に取り組んでいます。「環境」については、「温室効果ガス（Scope 1+2）の削減」が前倒しで目標達成する見込み（2015年度比23%削減）であるなど、着実な成果を上げています。

本事業では、本社と郡山第二工場における太陽光発電設備の設置を中心に、使用電力の一部非化石化等を推進。炭素生産性としては基準年度と比較して、目標年度に10.01%以上向上させることを目標に、さらなる企業価値向上を目指します。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始し、2024年度（目標年度）までに、会社全体の炭素生産性を10.01%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（計画終了年度）に、経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

電気機械器具製造業（29）

主に計測器製造工場に設備を導入する事業を対象としているため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度は、以下2つの取組を実施予定。

- ・郡山第二工場の新棟の屋根に自家消費太陽光設備およびNAS電池を設置。
- ・テクノオフィスの購入電力(70%)をCO2フリー電気に切り替え。

以上2つの取組により、炭素生産性を5.58%改善させる。

計画2年度目は、本社に自家消費太陽光設備を設置予定。また計画初年度の取り組みを継続することにより炭素生産性8.88%改善させる。

目標年度はJ-クレジット調達によりCO2排出量を一層減少させる。また計画初年度、2年度目の取り組みを継続することによって、会社全体の炭素生産性を10.01%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2022年12月

終了時期：2025年3月